

医療法人紫蘭会 光ヶ丘病院

実施日：2023年4月3日（月）（富山県高岡市）
講師：1名 受講者：18名



■開催者としての感想

新入職員研修でハンドケア講習を行うのは2回目でした。毎回どの立場の方を対象にしても高評であり、講習3回目になるとユースキンを使用する職員も増えてきました（ハンドケアをする職員が増えました）。また“ハンドケアも手指衛生の一環なんだ”という概念は、解っていたようで解っておらず疎かにしていた部分だったと、参加者皆さんがハンドケアの必要性に気づいたことも嬉しく感じています。

当院では手荒れのある職員に対し、手荒れ評価を行い、ハンドケアで対策可能な職員にはユースキン製薬のハンドケア方法を指導し実践していただいています。それにより手荒れが改善したり、アルコールが原因だと思っていた職員が、ステロイドなどの治療を経て改善した後に、ハンドケアに努めることで手荒れが予防できるというような事例もあります。手指衛生遵守率の向上のため、今後もハンドケアには力を入れていきたいと思えます。

■受講者の声

新人研修の感染対策でハンドケア講習会を受けました。コロナウイルスの流行もあってか、日々の仕事や家庭での手洗いやアルコール消毒剤の使用回数が増え、ひびや乾燥といった手荒れが気になるようになりました。自分なりにハンドクリームでケアをしていましたが、仕事中にハンドクリームを塗ってもすぐに手洗いすることも多く、ケアを怠っていることも多々ありました。実際に手肌の水分量を測定し、21.6%とかなりの乾燥状態でしたが、正しいハンドケア方法を行い、手肌の水分量を再測定すると52%と水分量が一度で増加しました。

手荒れの状態では、汚れや菌が残りやすいです。また正しいハンドケア方法を実践し、手荒れが改善すると手指消毒時の痛みが軽減し、適切なタイミングで手指消毒ができ感染対策に繋がります。ハンドケアは患者や自分自身を感染から守るためにも、とても大切だということが分かりました。実技を取り入れたハンドケア講習は楽しみながら学べたので、定期的に行ってほしいです。

